

令和7年度 江戸川区立小岩第五中学校 『特別の教科 道徳』 教育全体計画

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
○健やかな人
○知性に富む人
○心豊かな人
○勤労を尊ぶ人

【地域の実情】保護者は非常に協力的である。
【学校の実情】ボランティアや学校行事等に一生懸命取り組む。
【生徒の実情】明るく素直さがあるが、自主性に乏しい面がある。意志が弱くあきらめやすい。
【教師の願い】自己実現に向けて努力する生徒・集団のために尽くす生徒・自然や生命を尊ぶ生徒を育てる。
【保護者の願い】思いやりのあるやさしい子・粘り強い子・他人に迷惑をかけない子・自ら学ぼうとする子を育てる。

本校の道徳教育の重点目標

向上心、個性の伸長

各学年の指導の重点

第1学年

・いろいろな個性があることを学ばせ、互いを認め合える関係を築かせる。
・基本的な社会のルールを守る態度を培わせ、やるべきことをしっかりとできる力を付けさせる。

第2学年

・責任・協力他者への思いやりをもつことができる「感じる力」の育成を行う。
・生徒が自主的に考え、行動できるようにする。

第3学年

・相手を思いやり、自他を大切にできる関係を築かせる。
・目的や目標をもつことのよさやその実現に向け努力することの大切さ、応援することの尊さに気付かせる。

各教科

国語

言語活動を通して、正確に理解したり、適切に表現したりする資質・能力を身に付ける。

社会

授業を通し自国を理解するとともに、国際社会にも関心を持った公民としての基礎を養う。

数学

数学の基本を習得し、自らそれを活用しようとする意欲およびその能力を身に付ける。

理科

自然と共生し、生命の尊重する態度を養う。

音楽

音楽を愛好する心情や感性を育み、表現力や豊かな情操を養う。

美術

美術を愛好する心情や感性を育み、豊かな情操を培う。

保健体育

さまざまな運動体験を通して、ルールを守って集団と協力する態度を養う。

技術・家庭

家庭生活、地域の人とのかかわりを考え活動することができる。

外国語

英語やその背景にある文化を理解し、英語で表現する力を身に付ける。

読書科

読書を通して、相手の気持ちになどを考える想像力を養う。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年

・社会の一員として責任を持ち役割を果たす。
・個性を伸長し、偏見や差別のない思いやりのある心を育てる。
・社会で学ぶことを機に、自分の生き方や進路について考えさせる。

2年

・他者への思いやりの心を育成する。
・気持ちの良いあいさつができるようにする。
・仲間を大切にすることができるようにする。

3年

・他の人の生き方に学ぶと共に、自分の生き方を真剣に考え、他者の生き方を尊重させる。
・人間としての誇りを持ち、社会の一員としての自覚を深める。

指導方針

・様々な人との交流活動を通して、個性や特性を見いだし、相互の違いを発見し、お互いに認め合うことによって、自己肯定感を高める。
・思いやりのある心を育て、自他問わず生命及び人間尊重の精神を養う。思いやりの心を自ら社会の役に立つよう努める心を育てる。

指導の工夫

・各教科や特別活動との関連を図る。
・グループによる話し合い活動を取り入れる。
・生徒の発達の段階や特性を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習等を適切に取り入れる。

総合的な学習の時間

「学ぶ」を全学年のテーマにし、様々な物・人から学ばせることにより、自ら課題を見つけ、自ら考え、課題を解決する能力を育成する。

特別活動

学級活動

自分の意見を主張しつつ、他の意見を尊重することで協力する心を育てる。

生徒会活動

様々な活動の中で、協力する心や社会性を養う。自主自立の心を身に付けさせる。

学校行事

生徒の活躍の場を十分に確保し、生徒の自主的な活動ができる場をつくれるよう教師が助言、アドバイスをし、支えることで自主と責任を重んじる態度を育成する。

生活指導

・生徒相互、教師と生徒の望ましい人間関係を確立させる。
・自他を共に尊重する態度を養う。
・人権意識や感覚を高めるとともに、命を大切にする心を育てる。

環境整備

・全員清掃を行うことによって学校内の環境美化に努める。
・言語環境を整える。
・掲示物の工夫をする。

家庭・地域との連携

・道徳授業地区公開を実施し、公開した道徳の授業の意見等を聞き、授業改善に活かしていく。

推進体制

校内に道徳主任、各学年に担当者を1名ずつ置く。
授業については学級担任を中心に進めていくが、学校全体・学年体制でも取り組んでいく。